

会社回答は社員の期待にまったく応えていない！

過去最高益を還元せよ！

2013年度年末手当再申し入れ団体交渉

本部は11月18日、申22号「2013年度年末手当および商品券の支給に関する再申し入れ」に基づき団体交渉を開催し、年末手当3.5ヶ月満額支給と5万円分の商品券獲得に向けて会社と議論しました。詳細は『業務速報890号』参照して下さい。

会社は11月8日「年末手当の支給月数3.0ヶ月」、福利厚生観点から5万円の商品券支給については「その様な考えはない」などと回答しました。JR東海労これに対し「第2四半期決算で連結・単体とも過去最高益となる業績を築き上げた社員の労苦に報いるためにも、支給月数3.0ヶ月という回答を撤回し要求通り3.5ヶ月プラス商品券5万円支給すること」と再申し入れを行いました。

会社の回答は「回答した通りであり、撤回するつもりはない」というまったく誠意のないものでした。

会社はJR東海の期末手当水準はJR他社や世間相場と比べ極めて高いと主張します。しかし、JR東日本は年末手当3.11ヶ月で年間支給月数も5.96ヶ月であり、JR東海の5.95ヶ月を上回りました。JR東日本はJR東海と比べ、社員数が3倍で、第2四半期純利益は230億円も少ないのです。こうしたことから、利益を社員により多く還元するべきと会社に迫りました。しかし会社は3.0ヶ月からの上積みをかたくなに拒否しました。

本部は全ての面に対立を確認し、議論を持ち帰り検討しましたが、これ以上の前進は困難と判断し、交渉を集約し妥結することとしました。

交渉にあたり組合員のはもとより、他労組組合員の皆様のご支援に感謝します。

会社はさらなる上積み拒否！